

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

道の駅を核とした地域活性化プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

能代市

3 地域再生計画の区域

能代市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本市においては、少子化、高齢化が進行するとともに、商店数、従業者数、商品販売額の減少が続いており、今後もこの傾向が続くことが懸念される。各地域の商店街では、経営者の高齢化及び後継者不足と経営不振などで空き店舗が増加し、商店街の魅力が低下するとともに、消費人口の減少に伴う売上全体の減少、インターネット販売等の物品売買の多様化、車社会の進展など、社会構造の変化が地域経済に大きく影響している。

また、本市には、桜や紅葉の名所きみまち阪公園や原生林の七座山といった優れた地域資源が多く存在しているが、各地域資源へのアクセスの改善、情報発信の強化など、地域資源間のネットワークづくりによる集客力の向上や滞在時間の延長が課題となっているほか、能代山本地域の玄関口及び県北地域との結節点として、交流人口の拡大のための広域的な連携や情報発信などのための取組が求められている。

4-2 地方創生として目指す将来像

本市では、産業創出と雇用の場の確保を最優先課題として施策を展開しており、その施策の一つが、交流人口の拡大による地域経済の活性化である。現在、日本海沿岸高速自動車道の延伸に伴い、秋田県で2つ目となる重点道の駅にも選定された「道の駅ふたつ」の移転整備が予定されており、ここを起点として、地場産品の6次産業化を通じた地域の産業振興や交流促進、白神山地の玄関口としてのインバウンド観光の取組により、飲食や宿泊、物産販売を中心とした地域経済への波及効果及び雇用確保につなげていく。

さらに、県北地域の道の駅との連携を中心に、各地域の食、物産、観光をアピールして市内外の地域資源に誘導させる取組を行うことにより、能代市

の活性化だけでなく、能代山本地区及び県北地域の交流人口の拡大につなげる。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
道の駅ふたついで来訪者数(人)	133,000	0	0	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数(人)	0	0	0	1,000
市内地域資源の来場者数(人)	647,000	0	0	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上(千円)	99,630	0	0	183,549

	KPI増加分の 累計
道の駅ふたついで来訪者数(人)	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数(人)	1,000
市内地域資源の来場者数(人)	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上(千円)	183,549

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業は、国の重点道の駅に選定された「道の駅ふたつ」の移転整備を機に、民間による運営体制を整備し、道の駅を地域のマーケティング拠点として産業振興を図るとともに、地元商店街との回遊性の創出や周辺エリアの地域資源を活用した周遊ルート・イベント等の企画、インバウンド観光の取組等を通じて交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図るものである。

また、親水空間でのイベント開催等の取組により、更に多くの来訪者を滞留させ、地域経済への波及効果を高めるとともに、災害時には、各種の事故災害時の活動拠点、道と川のネットワークを活かした総合的な防災拠点としての運用を図るものである。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

能代市

② 事業の名称：

道の駅を核とした地域活性化プロジェクト

③ 事業の内容

本事業は、国の重点道の駅に選定された「道の駅ふたつ」の移転整備を機に、民間の新たな管理運営組織による運営体制を整備し、道の駅を地域のマーケティング拠点として、地場製品の積極的な商品開発や6次産業化、販売戦略を展開して産業振興を図るとともに、地元商店街との回遊性の創出やきみまち阪公園等の周辺エリアの地域資源を活用した周遊ルート・イベント等の企画、世界自然遺産「白神山地」の玄関口としてのインバウンド観光の取組等を通じて交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図るものである。

また、親水空間でのカヌー体験やイベント開催等の取組により、更に多くの来訪者を滞留させ、地域経済への波及効果を高めるとともに、災害時には、水防活動をはじめ各種の事故災害時の活動拠点、道と川のネットワークを活かした総合的な防災拠点としての運用を図る。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

「道の駅ふたつ」は、公益性と収益性の両方を併せ持つ施設であり、公益部門においては、直接的には利益を生まないため、能代市の魅力を広く情報発信するシティーセールスの施設として位置づけ、市が管理運営のための指定管理料を支払うが、収益部門においては、移転オープンから指定管理者の自らの収益により管理運営の費用を賄う独立採算で自立した運営を行う。

【官民協働】

能代市は、「道の駅ふたつ」の管理運営組織の設立支援と移転オープンの準備を進める。管理運営にあたっては、指定管理者制度の導入により、民間資金による運営につなげ、市は側面からの支援を行う。

【政策間連携】

「道の駅ふたつ」は、観光、歴史・文化など地域の情報を発信し交流が生まれる場であり、農林産物や木工品等の特産品を販売する農産物直売所や加工施設等を有する地域振興の拠点であるとともに、地域防災拠点としての機能を併せ持った施設であり、産業振興、観光、歴史・文化、地域防災の政策が連携し地域活性化を図るものである。

【地域間連携】

「道の駅ふたつ」は、能代山本地域及び県北地域のゲートウェイとしての位置づけや、県北地域の総合防災拠点としての役割が期待されていることから、周辺地域への波及効果や牽引を意識した運営に努める。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
道の駅ふたついで来訪者数（人）	133,000	0	0	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数（人）	0	0	0	1,000
市内地域資源の来場者数（人）	647,000	0	0	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上（千円）	99,630	0	0	183,549

	KPI増加分の 累計
道の駅ふたついで来訪者数（人）	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数（人）	1,000
市内地域資源の来場者数（人）	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上（千円）	183,549

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

事業終了の翌年度、K P I の達成状況を取りまとめ、施設の所管

課及び指定管理者と共に自己評価を行い、市の総合戦略の施策進捗状況を確認する「能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」において検証する。検証結果はホームページで公表する。

【外部組織の参画者】

能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（あきた白神農業協同組合代表理事、白神森林組合代表理事組合長、能代木材産業連合会会長、能代商工会議所会頭、二ツ井町商工会会長、能代観光協会会長、二ツ井町観光協会会長、秋田県立大学木材高度加工研究所教授、能代地区校長会校長、能代公共職業安定所所長、秋田県山本地域振興局局長、秋田銀行能代支店支店長、北都銀行能代支店支店長、連合秋田能代地域協議会議長、能代市総合計画市民協働会議委員長、能代青年会議所理事長、能代市立幼稚園PTA連合会代議員、能代市自治会連合協議会会長、二ツ井地区区長連絡協議会会長、能代市連合婦人会会長、能代郵便局長、秋田県北部地区連絡統括郵便局長、東北電力能代支店長）

【検証結果の公表の方法】

市ホームページにおいて、各委員の意見とともに検証結果を公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 35,225千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 道の駅を核とした地域活性化プロジェクト（交付金対象外分）

事業概要：「道の駅ふたつ」の管理運営組織の設立及び運営の支援を行うとともに、周辺の観光資源とのアクセス整備、歴史・民俗資料コーナーの整備を行い、道の駅の移転オープンに向けた体制を整備する。

実施主体：能代市

事業期間：平成29年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

事業終了の翌年度、KPIの達成状況を取りまとめ、施設の所管課及び指定管理者と共に自己評価を行い、市の総合戦略の施策進捗状況を確認する「能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」において検証する。検証結果はホームページで公表する。

【外部組織の参画者】

能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（あきた白神農業協同組合代表理事、白神森林組合代表理事組合長、能代木材産業連合会会長、能代商工会議所会頭、二ツ井町商工会会長、能代観光協会会長、二ツ井町観光協会会長、秋田県立大学木材高度加工研究所教授、能代地区校長会校長、能代公共職業安定所所長、秋田県山本地域振興局局長、秋田銀行能代支店支店長、北都銀行能代支店支店長、連合秋田能代地域協議会議長、能代市総合計画市民協働会議委員長、能代青年会議所理事長、能代市立幼稚園PTA連合会代議員、能代市自治会連合協議会会長、二ツ井地区区長連絡協議会会長、能代市連合婦人会会長、能代郵便局長、秋田県北部地区連絡統括郵便局長、東北電力能代支店長）

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
道の駅ふたついで来訪者数(人)	133,000	0	0	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数(人)	0	0	0	1,000
市内地域資源の来場者数(人)	647,000	0	0	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上(千円)	99,630	0	0	183,549

	KPI増加分の 累計
道の駅ふたついで来訪者数(人)	327,000
親水空間エリアでの体験イベント参加者数(人)	1,000
市内地域資源の来場者数(人)	59,000
道の駅における地域の特産品やレストラン等の売上(千円)	183,549

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、市ホームページにおいて、各委員の意見とともに検証結果を公表する。